

令和4年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	1 / 1
発言項目		要 旨		答弁者
1		栗倉分校と、休校及び廃校が考えられる学校について	<p>先日、富士根北小学校栗倉分校の今後について、地域住民に対する説明会があったが、教育委員会と危機管理局の職員が来ただけで、十分な説明とは言えず、地域住民の不安や不満が多く残ったように思えたが、次回以降の住民説明についてどのように考えているか以下伺う。</p> <p>(1) 栗倉分校の周辺は、富士山噴火の影響があると想定されており、また、土砂災害特別警戒区域にもなっているが、国土交通省が行っている砂防工事が終了し、その後どのように変化するのか伺う。</p> <p>(2) 来年度、児童がいなくなるが、学校再開につながる明るい兆しはないか伺う。</p> <p>(3) 学校がその地域にあるメリットと、地域からなくなるデメリットを地域住民にしっかり提示するべきだと思うが、どのように考えているか。</p> <p>(4) 静岡県では、廃校になった旧県立静岡南高等学校をふじのくに地球環境史ミュージアムに、また、旧県立庵原高等学校を静岡県埋蔵文化財センターに改装し、県民に公共施設の再利用の模範を示しているが、現在、富士宮市が進めている（仮称）富士宮市立郷土史博物館基本構想に当てはめることはできないか、再度伺う。</p>	市長 副市長 教育長 関係部長
2		新型コロナウイルスの変化と今後の対策について	<p>新型コロナウイルス感染症が全国に広まり3年目になるが、今なお人類は新型コロナウイルスの変化に対応しきれていない。例えば、オミクロン株対応のワクチンをはじめ、対策を始めようとする頃には沈静化しつつあるというような状況や、感染速度が速いときは、医療逼迫が叫ばれることを7回も経験してきたが、先手を打つことができず、医療現場の負担は大きく、今に至っている。また、社会経済活動を促進していくのがいかに難しいか、考えさせられる。私たちもゼロコロナではなく、ウィズコロナに早くなじんでいかなければならないが今後の展望を伺う。</p> <p>(1) 政府は9月に待機期間及び隔離期間の見直しをしたが、世間は、今までの対応から切り替われないでいる。対策はあるか。</p> <p>(2) 純国産ワクチンの開発状況はどうなっているのか。</p> <p>(3) 感染した場合の対応について以下伺う。</p> <p>① 全数把握の見直しの前と後ではどのように変わったか。</p> <p>② My HER-SYS（マイハーシス）にログインできない方のサポートについて。</p> <p>(4) 家族全員が感染した場合は、食料の確保が困難になるが、独居世帯の方や身内が近くにいない方、また、富士宮市に住んでいる外国人の方への食糧補給支援はあるのか。</p>	市長 副市長 関係部長
3		電子決済の支払い証明書について	<p>(1) 税金や公共料金をスマートフォン等で電子決済した場合、支払い証明書が出てこないが、後の手続きで支払い証明は受け取ることができるか伺う。</p> <p>(2) 車検の際、普通自動車は、納税証明書の提示を電子証明などで省略できるが、軽自動車や小型二輪自動車は、従来どおり納税証明書の提示が必要となる。電子証明が普通自動車のようにできないのはなぜか。解決するための検討は行われているか伺う。</p>	市長 副市長 関係部長